

全青会 第6回理事会・中部ブロック事業

11月5日に岐阜市のグランベール岐山にて、第6回全青会16期理事会と中部ブロック事業が開催されました。

理事会は朝9時から開催され、今後の車椅子ノズルチップ事業の経過報告、今後の全青会活動内容や統一テーマと来年5月13日に大阪で開催予定の総会と会長会議の進行について議論しました。また全青会役員以外にも全青会OB5人の方も参加され、今までの全青会活動や、今後の全青会活動する上での重要点やアドバイス等、沢山の意見を頂き有意義な理事会になりました。全青会発足以来、初めての対面での理事会となりましたが、初めて顔を合わせた全青会メンバーもあり、ズーム会議だけでは語り切れない話や、懇親を深める事が出来ました。次回の対面での理事会は2月頃予定しております。

昼からは「事業継続力強化計画」をテーマに岐阜県青年部主管による中部ブロック事業の合同研修会が開催されました。

研修会ではビーシーパートナーズ代表の伊藤哲夫氏が「事業継続力」と「事業継続力強化計画書作成手順」について説明しました。

この計画は「事業継続計画(BCP)」の導入部分に位置し、「できる事から開始し、事業継続力強化に向けた取り組みを重ねていくことが重要」と説明して頂き、企業がBCPを策定する目的は、災害などが発生した際に最低限、重要な事業を継続させるためであるという事を理解しました。仮に策定をしない場合は、全部の事業を継続しようとするがあまり、逆に緊急時の対応が遅くなるため、全部の事業が縮小してしまい、最悪は倒産などの悪影響を企業に与える可能性が高まる事も説明して頂きました。最後にここに出席の皆様は建設関係に携わり、一般国民にとって命と安全を守るという観点から非常に重要な役割を担っている。ぜひ作成に取り組んで欲しいと締めくくりました。

懇親会では中部ブロック長の渡辺さんの乾杯の挨拶で始まり、中部ブロック青年部の方々と懇親を深める事が出来、青年部活動や仕事の情報交換についてお酒を飲みながら、意見を出し合いました。全青会が活動をする上で、全青会の活動を理解して頂く為にも、各ブロック青年部との交流は不可欠です。今後も各ブロックへ出向する際は、交流を積極的に行っていきたいと思っております。

全青会副会長 坂本泰雄



高田会長のあいさつ



懇親会の様子



中野副会長のあいさつ



全青会理事会の様子



渡辺ブロック長のあいさつ



中部ブロック長 渡辺純平